

第 64 回
関西社会学会大会
プログラム

第 1 日 2013 年 5 月 18 日 (土)

第 2 日 2013 年 5 月 19 日 (日)

開催校
大谷大学

タイムスケジュール（第2日）についてのご注意

関西社会学会ニュース vol.82(2013.01.31)の、大会第2日のタイムスケジュールの記載に誤りがありました。
正しくは、

第2日	
9:30～	受付開始
10:00～12:30	研究報告Ⅱ
13:30～16:30	シンポジウム

となりますので、ご注意ください。このプログラムでは訂正済みです。

一般研究報告 A（自由報告）の報告者の方へ、事務局からお願い

- ・報告者は部会開始時間の5分前までに会場に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。
 - ・1報告あたりの報告時間は25分です。
 - ・会場および周辺では配布資料のコピーサービスはできませんので、報告者は50部程度ご用意ください。
 - ・報告申込の際に情報機器の使用を希望した報告者の会場には、プロジェクタ他の当該機器が備えられています。パソコンはご自身で持参してください。プロジェクタとパソコンを接続するケーブル（Mini D-sub15 ピン）は備わっています。Macをご利用の場合はコネクタないしアダプタもお持ち下さい。
 - ・機器や接続には故障や不具合が生じる場合があります。万一に備え、機器なしでも滞りなく発表できるようにご準備ください。機器を利用する方は、部会の始まる **20分前**に報告教室にお集まりいただき、その教室で機器が正常に作動するかを確認してください。
- ・大会奨励賞受賞者は、大会第2日（5月19日）のシンポジウム終了後、シンポジウム会場（1号館1階1113、1号館2階1214）で発表します。

参加費用

大会参加費	2,000円
懇親会費	一般 5,000円 学生 3,000円

本年度大会でも受付での学会費の徴収を行いません。別に学会費納入のコーナーも設けません。

第1日 5月18日(土)

◆受付開始 13:30 (響流館1階ロビー)

◆研究報告I 14:00~16:30

[第1室] 理論・学説I (1号館2階1200) 司会: 松浦雄介(熊本大学)

1. 記憶の社会学の問題設定をめぐって
——アルヴァックスを中心に—— 金 瑛 京都大学
2. ハンナ・アーレントの労働思想 百木 漢 京都大学
3. 市民社会と公共圏の学としての社会学
——初期シカゴ学派社会学の位置づけの試み、または社会調査の居場所探し—— 鎌田大資 椋山女学園大学
4. 馬賊とにわとり——戦時下における無法二題—— 藤原英男

[第2室] 政治 (1号館2階1204) 司会: 田中 滋(龍谷大学)

1. 韓国の言論民主化運動に関する一考察
——1970年代の東亜自由言論守護闘争委員会を中心に—— 森 類臣 立命館大学
2. 大阪発で生じた新たな地位政治の実証分析
——同日選挙・衆議院選挙における大阪市有権者の選択—— 伊藤理史 大阪大学
3. 労働者の再分配政策支持に対する構造改革の影響
——1995年、2005年SSM調査、SSP調査の比較から—— 永吉希久子 東北大学
4. 社会保障のマクロ効果に関するパネルデータ分析
——経済成長率・女性労働力率・自殺率・出生率への効果—— 柴田 悠 同志社大学

[第3室] 組織・社会運動・集合行動 (1号館2階1205) 司会: 吉田竜司(龍谷大学)

1. 「終焉」後のボランティア
——被災写真救済活動を事例として—— 溝口佑爾 日本学術振興会
2. 保守運動における女性の排除と再接合
——日本会議と日本遺族会の記事分析から—— 鈴木彩加 日本学術振興会
3. 倫理的消費の普及に関する社会学的研究
——フェアトレード認証製品を取り扱う企業の分析から—— 小田奈緒美 大阪大学
4. 東アジア型運動モデルの形成と展開
——過重債務と破産・個人再生制度—— 大山小夜 金城学院大学

[第4室] 労働・職業 (1号館2階1210) 司会: 筒井淳也(立命館大学)

1. 日雇い派遣労働現場が抱える問題性
——学生アルバイトのイベントコンパニオンを事例として—— 田中慶子 立命館大学
2. 日本における高学歴外国人の職業キャリアの方向性
——” de-skilling”、” re-skilling” と” up-skilling” の視点から—— ハッカライネン・ニーナ ヘルシンキ大学
3. 教師の早期退職についての一考察 山上賢一

[第5室] 文化 (1号館2階1213) 司会：岡田朋之 (関西大学)

- | | | |
|---------------------------------|------|--------|
| 1. 西洋音楽の時間と演奏空間の変様 | 寺前典子 | 慶應義塾大学 |
| 2. 町に溶け込むオタクたち——アニメ聖地巡礼者の交流から—— | 入江由規 | 甲南大学 |
| 3. オタクと社会——オタクへの聞き取り調査を参考に—— | 渡邊秀司 | 佛教大学 |
| 4. ダンスクラブと風営法規制——規制の論理の変化から—— | 太田健二 | 四天王寺大学 |

[第6室] 社会問題 (1号館3階1302) 司会：山北輝裕 (日本大学)

- | | | |
|--|-------|-------|
| 1. ルサンチマンといじめの問題系
——社会の移行と社会的性格とに注目して—— | 野村洋平 | 龍谷大学 |
| 2. 社会問題に対する社会的反作用のエスカレーションの過程分析
——新聞報道における大津いじめ問題による検討—— | 大澤卓也 | 立命館大学 |
| 3. 教員・公務員採用試験適性検査における人権問題
——心理テスト MMPI・MINI・MINI-124 の質問をめぐって—— | 岩本健良 | 金沢大学 |
| 4. 電話相談員のメンタルヘルス調査から見る意識変化について | 平井正三郎 | 東大阪大学 |

[第7室] エスニシティ (1号館3階1303) 司会：伊地知紀子 (大阪市立大学)

- | | | |
|---|---------------|-------------------------------|
| 1. 「有色」の駐在員とその白人性
——20世紀前半南アフリカにおける反アジア的移民政策と人種・階級—— | 山本めゆ | 京都大学 |
| 2. 在日ヨーロッパ人の国際移動
——留学型とライフスタイル移民—— | デブナール・ミロシュ | 京都大学 |
| 3. 1・2世在日朝鮮人女性の民族政治学
——大阪府「女性同盟」活動家のオーラル・ヒストリーから—— | ホン・ジョンウン | 大阪大学 |
| 4. 在日コリアン女性に対する複合差別とエンパワメント
——2世・3世のミドルエイジが語るライフ・ヒストリーを通じて—— | ○朴 君愛
神原文子 | (一財)アジア・太平洋人権情報センター
神戸学院大学 |

[第8室] ジェンダーI (1号館3階1310) 司会：中里英樹 (甲南大学)

- | | | |
|--|------|--------|
| 1. 男性中心組織における男女比率の影響
——選手とマネージャーの関係性に注目して—— | 関めぐみ | 大阪府立大学 |
| 2. 育児雑誌における「男」の子育て | 巽真理子 | 大阪府立大学 |
| 3. 戦前期日本における女子職業案内書の機能とその変容 | 濱 貴子 | 京都大学 |
| 4. 台湾における少子化メディア政策 | 周 典芳 | 台湾慈濟大学 |

[第9室] 若手企画部会 マイノリティをめぐるとの共同性の再構築 (1号館3階1301)

司会・解題：李 洪章 (日本学術振興会)

- | | | |
|--|------|--------|
| ① 変奏する「集団」
——選択できない/選択しない縁をめぐるとの考察—— | 有菌真代 | 立命館大学 |
| ② ホームレスと共同性——行政代執行の記録をめぐって—— | 渡辺拓也 | 大阪市立大学 |
| ③ 断絶を見据える「対話」
——在日朝鮮人—日本人間の〈親密な公共圏〉—— | 山口健一 | 福山市立大学 |

◆総会 16:45~17:30 (1号館1階1113教室)

◆懇親会 18:00~20:00 (講堂棟食堂 地階1階)

第2日目 5月19日(日)

◆受付開始 9:30 (響流館1階ロビー)

◆研究報告Ⅱ 10:00~12:30

[第1室] 理論・学説Ⅱ (1号館2階1200) 司会:早川洋行(滋賀大学)

1. シュッツの「構成」と現代の社会構成主義 梅村麦生 神戸大学
——社会理論における「構成」の多義性について——
2. 権威についての若干の考察 木村 純 京都大学
——ウェーバーの支配類型における「権威」の位置と時間様態としての「権威」——
3. 社会システムの変動分析に関する試論 新 睦人 奈良女子大学
——いわゆる“家族崩壊”論を素材として——

[第2室] 家族・人口 (1号館2階1204) 司会:斧出節子(京都華頂大学)

1. 夫の家事参加は妻の負担を減らすのか 竹内麻貴 日本学術振興会
——夫婦の働き方と家事参加のパネル分析——
2. 「男女共同参画」時代の母性と母の形成 元橋利恵 大阪大学
——母子健康手帳を手がかりに——
3. 団地の主婦の人間関係 梅田直美 大阪府立大学
——1950~60年代の新聞・雑誌記事言説分析から——
4. 近世海村における出生コントロールと子どもの再分配 中島満大 京都大学

[第3室] 教育 (1号館2階1205) 司会:西田芳正(大阪府立大学)

1. 就職活動における「やりたいこと」の意味 妹尾麻美 大阪大学
——大学生への継続的な聞き取り調査から——
2. 高等学校中途退学者の社会学的考察 井上慧真 京都大学
——内閣府「若者の意識に関する調査」の結果より——
3. オルタナティブ教育における脱/再制度化の重層性 森田次朗 京都大学
——現代日本社会の事例をとおして——
4. 現代高校生の進路選択メカニズム 藤原 翔 東京大学
——学歴に対する評価を用いた計量分析——

[第4室] 農山漁村・地域社会 (1号館2階1210) 司会:鯉坂 学(同志社大学)

1. 若年奉公人の教育機会 阿部友香 京都大学
——山形県庄内地方の夜学を事例に——
2. 地域再生と伝統的自治システム 佐藤友光子 四国学院大学
——高知県高岡郡梶原町における「区長制」の機能をめぐって——
3. 買い物難民支援に関する一考察 新井康友 中部学院大学
——ガレージ店舗「さくら」の実践を通して——

[第5室] 宗教 (1号館2階1213) 司会: 三木 英 (大阪国際大学)

1. 巡礼ノートの記帳内容からアニメ聖地巡礼を位置づける 由谷裕哉 小松短期大学
2. 成功・繁栄に向けて 三阪夕芽子 関西学院大学
——ケニア・ナイロビの独立系キリスト教を事例に——
3. 韓国人宣教師にとっての日本宣教 中西尋子 関西学院大学
——「汝の敵」「隣り人」としての日本——
4. 宗教性の「測度・指数・尺度」に関する実証的な検討 真鍋一史 青山学院大学
——日本と欧米の国ぐにとの国際比較の視座から——

[第6室] コミュニケーション・情報 (1号館3階1302) 司会: 辻 大介 (大阪大学)

1. 「記憶」化される炭鉱: 筑豊炭田の事例を中心に 木村至聖 甲南女子大学
——NHK アーカイブス学術利用トライアル研究から——
2. 装置の多様性は言論の多様性を保証しうるか 松浦さと子 龍谷大学
——京都府下コミュニティFM放送局全調査より——
3. 身体運動と知覚のエスノメソドロジー ○秋谷直矩 京都大学
——視覚障害者歩行訓練場面の分析—— 佐藤貴宣 関西学院大学
吉村雅樹 (株)グッドビレッジ
4. ビデオエスノグラフィーを用いた子育て支援現場の相互行為分析 ○阿部智恵子 石川県立看護大学
——ジャンプ遊びでの子どもの『あぶない』という発話からみえるもの—— 樫田美雄 神戸市看護大学

[第7室] 社会福祉・医療 (1号館3階1303) 司会: 前田拓也 (神戸学院大学)

1. 日本の公的介護保障制度はなぜ社会保険方式かつ医療保険とは独立の 大久保将貴 大阪大学
制度となったのか——制度生成と変化のメカニズム——
2. 能力を推し測る 木下 衆 京都大学
——施設に暮らす認知症患者と家族の相互行為——
3. ディスアビリティと格闘する 秋風千恵 大阪市立大学
——重度・軽度の淡いにいる障害者たち——
4. 「なんちゃってアートセラピー」考 兼子 一 神戸医療福祉大学
——アートセラピーの全国実態調査より——

[第8室] 比較社会学・地域研究 (1号館3階1310) 司会: 小林和美 (大阪教育大学)

1. 日本人の好きな外国のゆるやかな変化 藤田智博 桃山学院大学
——「日本人の意識調査」の4時点の分析から——
2. 東アジアの情緒的サポート——EASS 2010を用いた 伊達平和 京都大学
サポートの不必要型・孤立型・資源型の分析——
3. 韓国地方都市における地域政策の展開と地域社会の受け入れ 魯ゼウォン 天理大学
——江原道東海市の情報化村を事例に——
4. コーヒー文化とグローバリゼーション 中根光敏 広島修道大学
——インドネシア・スマトラ島を事例として——

[第9室] ジェンダーⅡ (1号館3階1301) 司会：田間泰子 (大阪府立大学)

共同報告：ポスト工業社会における男性の健康

- | | | |
|--------------------------|-------|------|
| (1) 男性学の展開と男性健康問題の浮上 | 伊藤公雄 | 京都大学 |
| (2) 男性自殺率の規定要因に関する時系列的分析 | 阪本俊生 | 南山大学 |
| | ○平野孝典 | 大阪大学 |
| (3) 特定健診・特定保健指導制度と男性の身体 | 古川岳志 | 大阪大学 |
| (4) 男性健康の問題化とその背景 | 山中浩司 | 大阪大学 |

◆シンポジウム 13:30~16:30

第1シンポジウム (1号館1階1113)

グローバルな視点から日本社会のこれからを問う

司会：落合恵美子 (京都大学)・神原文子 (神戸学院大学)

第1報告 ジェンダーの視点から見る日本のワーク・ファミリー・
バランス ——EU諸国との比較考察—— 高橋美恵子 大阪大学

第2報告 韓国における社会保障改革の経験と日本への示唆 金 香男
フェリス女学院大学

第3報告 不足するケアと外国人受け入れ政策 安里和晃 京都大学
——看護・介護・結婚をめぐる——

第4報告 未来を築く若き社会変革者たち トウーッカ・トイボネン
——新たなイノベーション・コミュニティの形成—— ロンドン大学

第2シンポジウム (1号館2階1214)

質的調査のアーカイブ化の問題と可能性

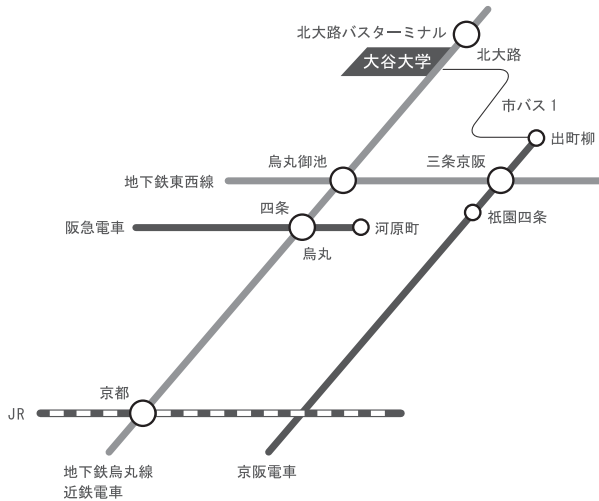
司会：桜井 厚 (立教大学)・轟 亮 (金沢大学)

第1報告 質的調査データの公共性とアーカイブ化の問題 小林多寿子 一橋大学

第2報告 大学研究所蔵の社会調査報告書のデータベース化の諸問題 森本一彦 高野山大学

第3報告 映像アーカイブズを利用した質的調査の可能性 石田佐恵子 大阪市立大学

大谷大学・アクセスマップ



地下鉄

京都市営地下鉄烏丸線

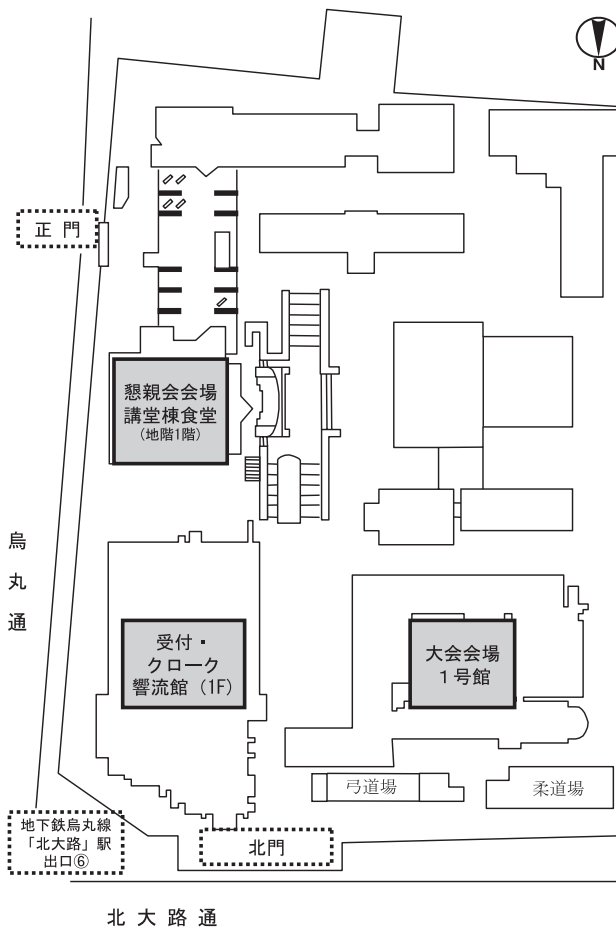
国際会館行「北大路」駅上

京都市営バス

「北大路バスターミナル」

行き

*所要時間の短い地下鉄のご利用をおすすめいたします。
大谷大学 HP もご参照ください。



地下鉄「北大路」駅 6 番出口すぐの北門からご入構ください。北門を入れてすぐ左手の響流館(こうりかん) 1F ロビーが受け付け・クロークとなります。

バスをご利用の場合、「北大路バスターミナル」の地下に到着いたしますので、地下鉄と同じく 6 番出口をご利用ください。